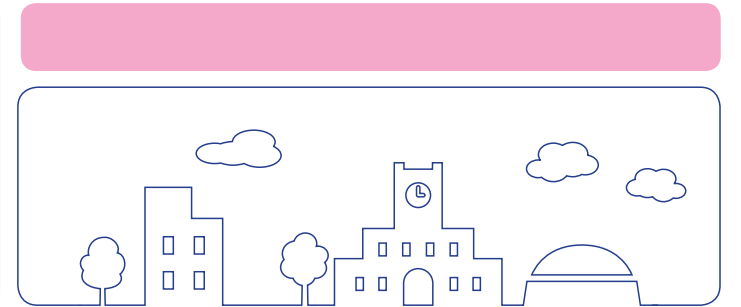
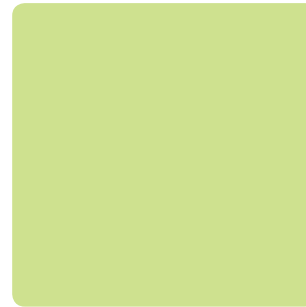


ゆたか福祉会

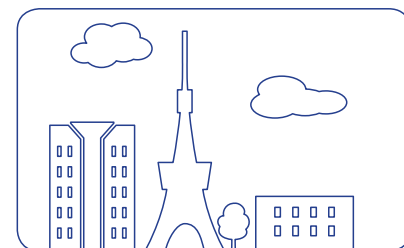
事業所マップ

《記号の説明》

- ★ 日中活動施設・作業所
- ✿ その他の事業所
- ✿ 生活施設
- ✿ 高齢者事業所
- ✿ 居宅事業所
- ☎ 相談事業所
- 🏠 グループホーム



この街でいきっていく
笑顔と未来を創りながら



社会福祉法人

ゆたか
福祉会

創ってきたのは笑顔と未来です。

《ゆたか福祉会のあゆみ》

誕生は、全国で初めての共同作業所「ゆたか共同作業所」から

ゆたか福祉会は 1969 年に全国で初めての共同作業所として、前進である名古屋グッドウィル工場をへて名古屋市南区で誕生。「どんなに重い障害があっても、人間として大切にされ、成長・発達する権利がある」 ～そんな考えのもと、地域の多くの団体や個人と協力しながら、障害者の働く場（作業所）をつくりだしてきました。

「ぼくも、私も働きたい」～願いは全国に波及

ゆたか共同作業所が誕生した 70 年代前後は、まだ障害者が「働くことは無理」「かわいそう」という時代でした。しかし、ゆたか福祉会の仲間たちのいきいきと働く姿は周りの人々に共感と感動をよび、その感動の力は渦となり「共同作業所づくり運動」として広がっていきました。今では全国どの地方でもあたり前のように存在する障害者の働く場や共同作業所がその後続々と誕生していたのです。

このころ誕生したばかりのゆたか共同作業所では、職員と一緒に働く障害者の人たちのことを、ともに働く仲間という意味を込めて「仲間たち」と呼んでいました。「仲間・仲間たち」という言葉もいつの間にか全国に広がっていったのです。

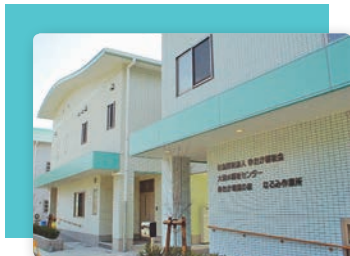
暮らしの願いも実現

ゆたか福祉会は誕生後すぐに「仲間たちの住みなれた、この街で暮らし続けたい」という願いを実現する為、地域で安心して暮らせる住まいのあり方を模索してきました。「ゆたか希望の家」にはじまり、福祉ホーム、通勤寮、グループホームへと、暮らしの場を広げ、現在、これらの利用者は 300 名を超える規模になってきています。またヘルパー派遣や相談支援など、暮らしにかかわる様々な願いも大切に、応えてきました。私達はこれからも障害者や高齢者が地域の中であたりまえの暮らしを実現していくためのとりくみを続けていきます。



ゆたか福祉会の歴史

1968	名古屋グッドウィル工場の開設
1969	ゆたか共同作業所として出発
1972	社会福祉法人ゆたか福祉会を設立して ゆたか作業所として再出発
1973	みのり共同作業所開設
1976	なるみ作業所開設
1980	ゆたか希望の家開設
1982	ゆたか鳴尾寮開設
1983	つゆはし作業所開設 リサイクルみなみ作業所開設
1985	デイサービスみなみ開設
1987	鳴尾ホーム開設（第 1 号のグループホーム）
1989	さわやか共同作業所開設 ゆたか通勤寮開設
1991	あかつき共同作業所開設 資源回収事業部（現トライズ）開設
1992	ふれあい共同作業所が合流
1994	リサイクル港作業所開設
1998	第 2 ゆたか希望の家開設
1999	グループハウスなぐら開設 デイサービスなぐら開設
2002	緑区障害者地域生活支援センター開設
2005	リサイクルみなみ作業所移転
2007	ワークセンターフレンズ星崎開設 あかつきヘルパーステーションはなきりん開設
2011	財団法人福祉ひろめ会より高齢事業を引き継ぐ… ケアサポート宝南
2012	ライフサポートゆたか開設
2013	生活サポートセンター名倉開設
2014	緑区基幹相談センター事業を受託 （障害者相談支援センターみどり） NPO 法人グリーンハートとの共同運営
2015	地域活動センターしかやま開設 グループホームエール開設



ゆたか福祉会の事業 Vol.4

各種養成講座・研究活動

★ヘルパー養成講座

介護職員初任者研修（旧ヘルパー 2 級講座）やガイドヘルパー講座を定期的に開催し、福祉を担う人材養成の取組みを行っています。



★障害福祉研究所

研究者や専門家の協力を得ながら、研究会や障害者問題に係わる公開講座などを定期開催しています。



笑顔と笑顔をつなぐ応援団…「賛助会員」募集中！！



ゆたか福祉会と出会った皆さん、ぜひ賛助会員になってください。そして、ゆたか福祉会が行っている様々な活動を見たり聞いたりしてください。障害のある仲間たちの笑顔や元気を感じ取ってください。
ゆたか福祉会は創立当初から、賛助会員制度を作り多くの市民の皆さん、関係者の皆さんに支えていただきながら事業と運動を創ってきました。それはそのことが障害者に対する様々な誤解や偏見を和らげる力になり、遅れた日本の障害者福祉を変える力になると考えてきたからです。この機会にぜひ、ゆたか福祉会と仲間たちの頼もしい応援団になっていただけるようお願い申し上げます。

名 称	社会福祉法人ゆたか福祉会
代 表	理事長 鈴木 清覚
設 立	1969 年（無認可ゆたか共同作業所）
利 用 者 数	588 人（2014 年・平均／日）
職 員 数	557 人（2015 年 6 月現在）
年間予算規模	約 25 億 9 千万円（2014 年度決算額）
法 人 本 部	名古屋市南区泉楽通四丁目 5 番地 3

事業内容	障害分野	▶生活施設 …………… 3 ヶ所 ▶グループホーム …………… 27 ヶ所 ▶日中活動系事業所（作業所） …………… 10 ヶ所（生活介護、就労継続 A・B、就労移行） 宿泊型自立訓練 …………… 1 ヶ所 障害児者基幹相談センター（委託） …… 1 ヶ所（緑区、NPO グリーンハートとのコンソーシアム） 障害児者相談支援事業所（計画相談） … 6 ヶ所（南区 3・緑区 1・中川港区 1・設楽 1） ヘルパー事業所 …………… 2 ヶ所
	高齢分野	▶老人デイサービス …………… 2 ヶ所 ▶認知症対応グループホーム …………… 1 ヶ所 ▶居宅介護事業所（ケアプラン作成） …… 2 ヶ所



ゆたか福祉会キャラクター
みらいちゃん と ゆたかめくん

障害のある皆さんに寄り添いながら… 相談支援事業

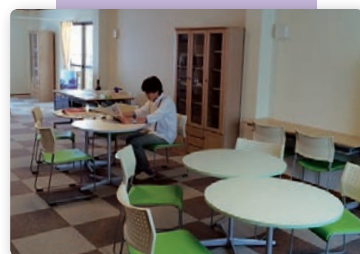


★障害者相談センターみどり（名古屋市障害者基幹相談センター）

緑区の障害者基幹相談支援センターとして、NPO 法人グリーンハートと「障害者相談支援センターみどり」を共同運営しています。

緑区を中心に名古屋南東部の精神障害・知的障害・身体障害など、子どもを含むすべての障害のある方を対象に、ワンストップで相談を受けています。

それぞれの分野の専門の相談員が配置されており、行政・医療・保健などの関係機関や各種団体と連携し、ご本人や家族と一緒によりよい生活のあり方を考えています。2015 年4月から、精神障害者の方の地域での相談と活動の場「地域活動支援センターしかやま」をオープンしています。



★計画相談・一般相談事業 6ヵ所

ゆたか福祉会では、緑区、南区、中川区・港区、設楽町で障害のある方が、「福祉サービス」を利用する場合に必要な計画相談事業、病院や施設からの地域移行を支援する一般相談事業を行っています。

身近な地域にある相談事業所として、障害者ご自身や家族の相談を数多く受けています。

楽しく元気で日々を大切に ～高齢の皆さんの地域福祉事業



★高齢者デイサービス事業 2ヶ所

65 歳以上の方で、高齢により身体などに障害がある方のためのサービスです。デイサービスに日帰りで行くことにより、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練、ご家族に向けて介護方法の指導等の支援を行う事業です。名古屋市南区と設楽町で事業を行っています。



★高齢者グループホーム 1ヶ所

高齢者のグループホームは、認知症の高齢者の方々が対象となるサービスです。少人数（9 人）で家庭的な雰囲気を大切にしながら、地域の中で可能な限り自立した生活が送ることができるようになることを目指しています。

★居宅介護事業所（ケアプラン作成）2ヶ所

要介護認定等の各種申請や介護サービスを利用する際に、窓口となる事業所です。介護支援専門員（ケアマネジャー）が常勤し、介護に対しての相談や悩みを専門的な観点から対応しています。高齢になった人達が自宅で、安心・安全に生活が出来るようサービス利用計画（ケアプラン）を作成し、事業者との連絡・調整等を行っています。



だれもが笑顔で暮らせる社会の実現をめざして



《ゆたか福祉会の事業理念》

ゆたか福祉会は事業開始 40 周年を迎えた 2010 年ゆたか福祉会の事業の目標を表した「わたしたちのめざすもの」と、日々の仕事の中で大切にしていきたい運営や行動の指針を表した「わたしたちの大切にしているもの」を全職員関係者の議論をへて決定し発表しました。

短い言葉で表現していますが、これらは私たちの事業の原点であり、歴史の中から生み出した教訓でもあります。私たちの法人運営や実践の基本として大切にしているものです。

私たちのめざすもの

- 障害のある人たちの“いのちとねがい”を大切に、社会への参加とゆたかな暮らしの実現をめざします
- 誰もが安心して暮らせる地域をつくるため、たくさんの“つながり”を築き上げていきます
- ゆたかな笑顔と人間性を育み、関係者の創意を活かすとともに、社会から信頼される経営をめざします



私たちの大切にするもの

尊重

すべての人々がかけがえのない存在であることを認め合い、その尊厳を大切にします

参加

一人ひとりが事業の担い手であり、その実践と創意を大切にします

共同

手をつなぎ支えあうことが何よりも大切であり、大きな力となることを確認します

運動

ねがいを形に変えるため、地域や社会とともに新しい事業や制度を創り出していきます

平和

平和の尊さを忘れず、協力と交流の輪を広げていきます



自分らしく誇りの持てる毎日を… 障害のある方の労働・日中活動の支援

《働く場・就労支援》

障害があっても、働くことはとても大切なことだと私たちは考えています。社会の一員として働いて給料をもらうという金銭面はもちろん、人の役に立つこと、良い商品を作って多くの皆さんに喜んでもらうことなど、労働は人間の生きがいや成長につながる大きな魅力を持っています。ゆたか福祉会では、障害のある方の労働を保障するため、様々な取組みを行っています。

企業就職に向けた支援

★就労移行支援事業 2ヶ所

一般就労等への移行に向けて、事業所内での訓練や企業における作業や実習、適性に合った職場の開拓、就労後の職場定着のための支援などを行う事業です。利用者は、標準期間2年以内での利用を原則としています。

ユニバーサル就労を目指す～本格的に働く場

★就労継続A型事業（雇用型） 1ヶ所

職員のサポートがあり、障害のある方が雇用関係を結んで働く事業所です。労基法（労働者）などが適用され、最低賃金を保障することが前提です。ゆたか福祉会では、名古屋市の資源ごみをトラックで回収している「トライズ」が該当しています。直接支援のスタッフ以外で健常者の雇用も可能で、障害者と健常者が一緒に働くユニバーサル就労を目指している事業所です。新たに清掃部門も立ち上げています。

働くことを大切に～様々な事業に取り組む

★就労継続B型事業 7ヶ所

本格的に働くことは難しくても、支援があれば障害の重い方たちでも働くことで大きな力を発揮します。ゆたか福祉会では食品製造やリサイクル事業、清掃事業、簡易軽作業など様々な仕事づくりに取り組んでいます。名古屋市の委託を受けたビン・缶・ペットボトルなどの回収・選別の仕事、クッキーやパンの製造、給食提供、清掃作業、洗濯、メール便の封入加工など、たくさんの事業を障害のある皆さんと共に行っています。

一生懸命手作りで作った商品や心温まるサービスの数々をぜひ一度ご覧になってください。

日中の活動を輝かせて

★生活介護事業 7か所

簡易な作業や創作活動、趣味の活動など行う日中活動の事業です。送迎などもあり、比較的障害の重い方たちが利用をしています。ゆたか福祉会では働くことを大切にしていますので、簡易作業であっても給料を支給しています。それは金銭面だけでなく、そのことを通じて社会につながっていることを体験できるととらえているからです。

ゆたか福祉会では、障害のある方が働くことや様々な活動を通して、地域の中で自分らしくゆたかに暮らせるよう支援しています。

地域の中で当たり前前に生きる幸せを… 障害のある方の暮らしの場の提供

24時間の暮らしをささえる

★生活施設・短期入所 3ヶ所

障害の重い方や高齢になった皆さんが安心して暮らすための生活施設は、全て完全個室でプライバシーが確保されています。また、看護師や栄養士、リハビリ職などの専門スタッフの配置もあり、一人ひとりの障害や状態に合わせた多様な支援を行っています。緊急時の短期入所なども含め24時間の生活を支える施設です。たくさんの職員が協力しながら働いています。

地域での暮らしをささえる

★グループホーム 24ヶ所

地域の中で、一人の市民として街の人とふれあいながら生活したい・・・「グループホーム」はそんな願いを実現する為につくられてきました。2人から10人単位の小規模な住居が地域に点在しています。現在、その数は24カ所。それぞれの地域で「生活支援事業所」として4～5のケアホームが一体的に運営されています。今後、高齢になった障害者のグループホームも計画をしています。

★宿泊型自立訓練事業 1ヶ所

ゆたか通勤寮は企業に勤める障害者を対象に、暮らしとあわせて企業との調整や訪問など、就労に係わる支援を行っています。最高3年の期限のある名古屋市内では数少ない宿泊型自立訓練事業として、貴重な存在の取組みとなっています。相談支援事業所と連携しながら多くの地域生活を送っている障害のある方の支援を行っています。

★ヘルパー派遣事業 2ヶ所

「あかつきヘルパーステーションはなキリン」（北名古屋市）と「ライフサポートゆたか」（名古屋市）は、ヘルパー派遣事業を主に行っている居宅介護事業所です。障害のある方々の地域での暮らしを支える為に、通院や外出の為に移動支援、食事や洗濯、買い物などの家事援助、車椅子の方などの生活を支える身体介護などの事業を行っています。